



# 笑顔行け! 地区社協

発行所 2024年10月発行

地区社協とは…市内49の小学校区ごとに設置され、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのために、地域住民が自らの手で地域の特性に応じた地域福祉活動を展開している団体です。

## 鶯地区

●人 口 3,368人  
●高齢化率 28.41%  
●地区社協設立 昭和58年8月1日

鶯地区社協では、毎月第1火曜日に、一人暮らし高齢者30名程に食事サービス事業を実施しています。20名の保健衛生検査員が、交代で献立作りから関わってお弁当を作り、7名の民生児童委員が利用者宅へ配布しています。

食事サービスを利用している高齢者は、「月に1回だけ但願お弁当が届くのをお心待ちにしています。おいしいお弁当をありがとうございます。」と喜んでいらっしゃいました。

これからも、鶯地区の高齢者を支える活動のひとつとして食事サービス事業を続け、各種団体と連携を図り、安心して暮らしていける鶯地区にしていきたいと思っています。



## 森田地区

●人 口 12,341人  
●高齢化率 22.11%  
●地区社協設立 昭和42年8月17日

森田地区社協の食事サービス事業は、地域の5つの関係者・団体が献立の作成などを交代で協力しながら年11回実施し、そのうち福祉委員が年2回担当しています。今年度は、福祉委員改選で新しい委員が多くなったことから、食事サービス事業について喜んでもらおうと、平成24年8月に2日間、料理講習会を開催しました。参加した福祉委員の皆さんは、9月の食事サービスに向け、講師の方の指導を熱心に受けながら、乾り鮮やかなお弁当をかり上げ、利用者の方にも大変喜ばれました。



## 社南地区

●人 口 12,941人  
●高齢化率 19.13%  
●地区社協設立 昭和56年4月1日

社南地区社協では、毎年クリスマスの時期になると、役員2、3名がサンタの衣装を身につけ、つばき児童館の依頼後児童クラブの子どもたちを始め、地区内にある2つの児童クラブに通っている子どもたち全員に地区社協と婦人会が用意したクリスマスプレゼントを手渡ししています。この取り組みは、平成5年に児童館が建設されたからずっと続けており、子どもたちが楽しみにしている行事の一つとなっています。

他にも、世代間交流事業の一環として、老人クラブとガールスカウトの交流事業のお手伝いもしています。遊でゲームをしたり歌をうたったりしながら交流を深めています。これらの事業をきっかけとして少しでも地域の輪が広がるお手伝いできればと思っています。



## 木田地区

●人 口 13,723人  
●高齢化率 17.69%  
●地区社協設立 昭和39年4月1日

木田地区社協では、一人暮らし高齢者への対応として年末に地区社協役員がお餅を配りながら交遊雑談をしています。10年以上前から続いている恒例の活動で、昨年は皆さんの児童館からお餅と一緒にぜひ届けしてほしいと、子どもたち手作りのストロップを渡しました。

「長生きしてくださいなど子どものメッセージが刺さっており、大変喜んでおられたようです。お正月のお雑煮にと喜ばれるお餅ですが、急いでのみ込ますとよく噛んで食べてくださいと声かけながら約100人のお宅を訪問しました。

日頃、食事サービス(配食)を利用している方は一部のため、地区社協としてもこの恒例活動を継続していきたいと考えています。



## 一乗地区

●人 口 904人  
●高齢化率 32.08%  
●地区社協設立 平成3年8月17日

一乗地区社協のデイホーム「ひだまり」では、昨年からは年に4~5回地区全体参加型の会を開催しています。野外研修会、オセロ・将棋会、音楽鑑賞会、カラオケ大会、児童との交流会です。

今年のカラオケは「きゅん、生まれ〜」「当たれ〜!」と賑やかにリーグ戦を行いました。交流会は、秋休み中の小学校体育館で児童クラブの子ども達と、スティックリングやシャッフルゴルフ、老人会の輪投げ、ベタンク等の対抗戦をしています。今年も最後に出たときをしました。子ども達に背中や腕を貸してもらっている皆さんの顔は、とってもにこやかでした。

福祉委員さん達の声かけのおかげで、どの会も少しずつ参加者が増えてきて、「やってみると面白いね」「また来るの〜」との声も聞けると、少しずつ定着してきたように感じます。皆さんの笑顔と健康づくりにお役に立てればとの気持ちで、地区を盛り上げていきたいと思っています。



## 清水東地区

●人 口 1,962人  
●高齢化率 25.84%  
●地区社協設立 平成22年4月1日

設立3年目を迎えた清水東地区社協では、福祉委員と民生児童委員の合同研修会を開催しています。

今年は、「ご近所力チェックシート」で、清水東地区の暮らしやすさの度合いを確認したり、西宮区支援センターの職員に認知症についての話をいただき、理解を深めたりすることができました。

最後に、福祉委員と民生児童委員が各地区に分かれ、見守り対象者の確認など情報交換を行いました。

これからも、「清水東地区に住んで良かった」と思ってもらえるよう、各種団体と連携を図りながら福祉活動を展開していきたいと思っています。



## 啓愛地区

●人 口 8,020人  
●高齢化率 20.97%  
●地区社協設立 平成22年8月31日

啓愛地区社協では、毎年10月に「ふれあい福祉まつり」を小学校体育館で、地区文化祭と同開催しました。地区民多数が来場、お昼には会場の特産品に地元産の食材で作った五日ご飯を配り大変盛況です。

福祉ブースでは、地区社協活動と写真パネルの展示、施設入居者の作品展や楽団招き寄せセンターによる介護および認知症や健康等の相談のほか、最新歩行器試乗、折り紙づくり、健康コーナーの開設に、輪投げ体験や花アレンジメントを開催する共同祭会活動などで、地区民の交流の場となっています。



## 白之出地区

●人 口 7,911人  
●高齢化率 26.08%  
●地区社協設立 昭和56年4月29日

白之出地区社協のデイホームは「水曜サロン」と称し水曜日に地区4会場で開催しています。昨年4月からは、男性や元気なお年寄りの参加者を増やしていきたいという思いから、月末の1回は地区体育館指導員の指導のもと、スティックリングを取り入れることにしました。体を動かすことに消極的であった方でも、体験することで無理なく参加することができ、ルールも簡単で競技が進行するにつれ年齢を問わずに楽しめる楽しさや、大きな声が出るようになりました。

また、地区内では過疎的や住宅マンションの増加により自治会区域も変動しており、民生児童委員・福祉委員は見守り区域の把握がおきかないよう「福祉マップ作り」を進めています。

